

MONEY SHOT

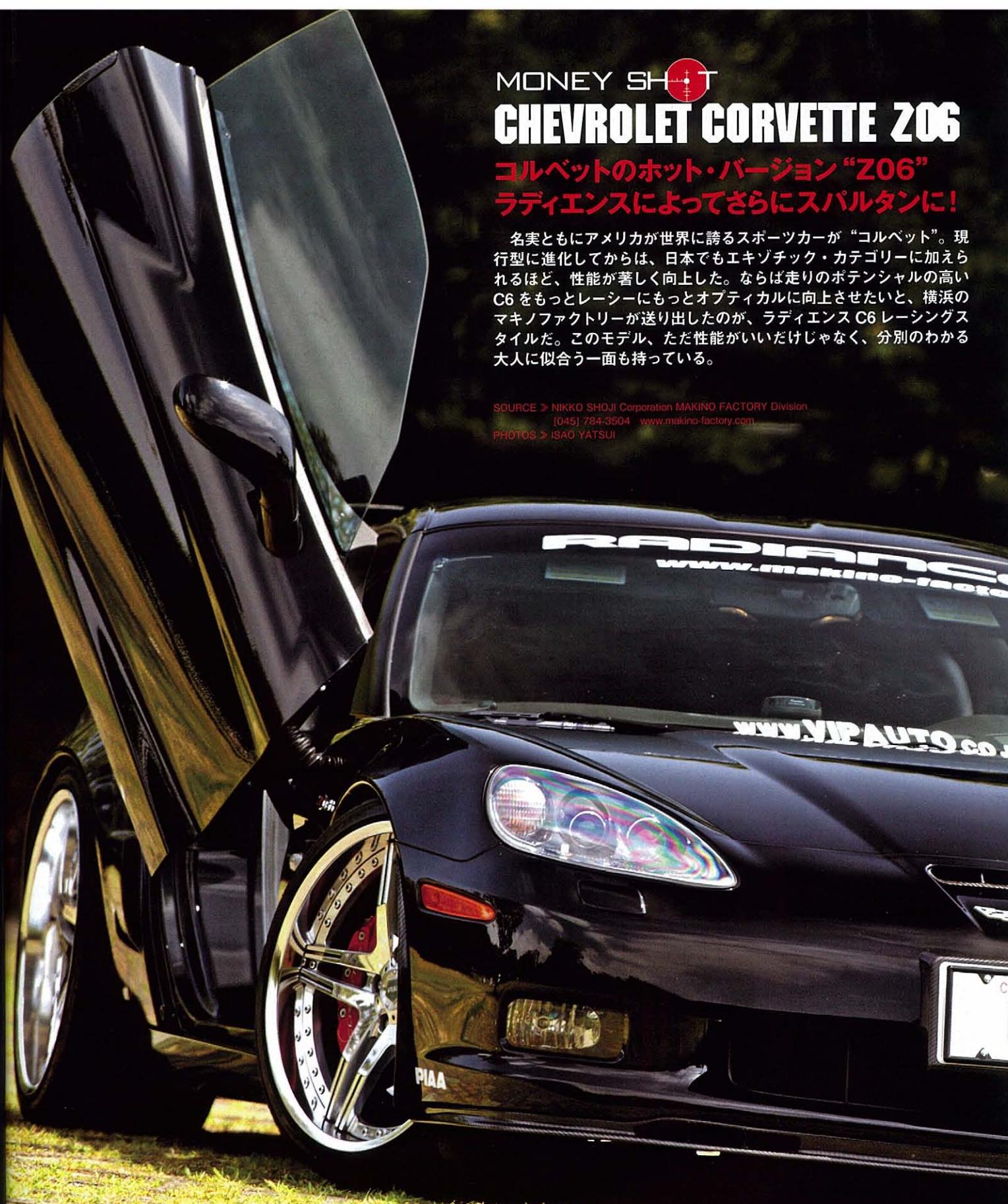
CHEVROLET CORVETTE Z06

コルベットのホット・バージョン“Z06”
ラディエンスによってさらにスバルタンに！

名実ともにアメリカが世界に誇るスポーツカーが“コルベット”。現行型に進化してからは、日本でもエキゾチック・カテゴリーに加えられるほど、性能が著しく向上した。ならば走りのボテンシャルの高いC6をもっとレーシーにもっとオプティカルに向上させたいと、横浜のマキノファクトリーが送り出したのが、ラディエンス C6 レーシングスタイルだ。このモデル、ただ性能がいいだけじゃなく、分別のわかる大人に似合う一面も持っている。

SOURCE > NIKKO SHOJI Corporation MAKINO FACTORY Division
[045] 784-3504 www.makino-factory.com

PHOTOS > ISAO YATSUI



RADIANCE Z06
RACING-STYLE



CHEVROLET CORVETTE Z06 RADIANCE Z06 RACING-STYLE



01. ホイールにはPIAAの新作プレミアムフォージドF301から20×10と20×11を装着。3ピース構造で絶妙なホイールマッチングを狙い、鍛造素材で純正より軽量&高剛性を実現している。
02. コルベットのエンブレム下のダクトもカーボンへ交換。純正形状なのでZ06の雰囲気を壊さない。これは前後フェンダーダクトとのセットで販売される。03. プレミアムフォージドF301はスポークにスリットが入るという独特的なデザイン。鍛造素材を使ったことから実現した。04. ドアノブも純正形状のままカーボンビースへ。ナンバーベースとのセット販売となる。



THE RACE PREPARED BODY BRING THE C6 TO ANOTHER STAGE.

マキノファクトリーがプロデュースするC6コルベットのモディファイ流儀

アメリカ人ならだれもが憧れるスポーツカー、コルベット。日本でも歴代コルベットは根強い人気を誇るが、とくに現行型C6コルベットは標準型で436ps、ハイパフォーマスバージョンのZ06で511psのMAXパワーを発生するスーパースポーツに進化。フェラーリV12に勝るとも劣らない流麗なシェイプを与えられ、最高に魅力的なクルマとなっている。ならばこれをEXOTICモディファイしないわけにいかないと、横浜・マキノファクトリーが堂々プロデュースしてきたのが「ラディアンス・レーシングスタイル」。そのコンセプトは「これが大人のレーシングスタイル」というものだ。

そもそもコルベットは、その45年の歴史でずっとレーシングフィールドと関わり続けてきた。レースファンなら知っているように、「05年のルマン24時間レースではGT1クラスを制覇しているほど。つまりコルベットをモディファイするにあたっては、レーシングイメージを与えていくのが王道といえるのだ。

マキノファクトリーがC6に与えたものは、一連のカーボンパーツ。フロントリップスポイラーやカーボンディフューザーを始めとして、6ピースからなるフェンダーやGTウイングなども設定していて、軽量化やオプティカルの向上に大きく寄与している。もちろんレーシング

スタイルというフレーズが示すように、サーキットでも有効な性能を発揮してくれる。

ここに組み合わせられるのは、パフォーマンスを鍛造素材で求め、オプティカルを3ピースのデザインで突き詰めたPIAAのプレミアムフォージド。モデルF301から20×10と20×11を選択した。そしてサスペンションにはレンテックのモジュールを組み込み、コンピュータ制御で50mmの車高調整幅が楽しめるという。

写真ようにZ06をベースにラディエンスコンプリートにしてもよし、標準型C6に好みのパーツを装着してもよし。C6の新しいモディファイスタイルがここに登場した！

新たなる“キラメキ”をまとめた C6のパフォーマンス&エレガンス



05.RADIANCEとは“キラメキ”や“輝き”という意味。GTウイングはレーシングカーのC6-R風デザイン。06.カーボン製ディフューザーからは4本出しのチタンテールがのぞく。エキゾースト系はヘッダスからマフラーまでフルスペックで用意される。07.GTウイングはレース専用部品（基本的に）。これより30%軽いドライカーボン製の設定や幅&高さの異なる設定も別注で変更できるという。

CHEVROLET CORVETTE Z06

RADIANCE Z06 RACING-STYLE



01. インテリアをフルにカーボン化。全部で 30 点のシルバーカーボンからなるレーシングキットだ。これは C6 と Z06 のどちらにも装着可能。GT ステアリングはカーボンとレザーのコンビとなり、純正エアバッグを組み込むことができる。02. シルバーカーボンを使っていて、純正と同じ形状でフィッティングも良好なスグレモノ。03. コルベットは歴代を通して 2 シーター。軟派ではなく走りに徹したイメージで内装は作られている。04. サイドシルにもカーボンファイバーが使われている。カラーはシルバー以外にも選べる。05. 一番握る機会の多いドアグリップ&アームレスト。ここも当然カーボンファイバーへと交換される。

カーボン素材にフォージドマテリアル
真にいいものだけを使った大人のクーペ



DANDYISM OF C6 MODIFICATIONS